

久美浜中学校同窓会報

京丹後市立久美浜中学校同窓会

〒629-3405 京都府京丹後市久美浜町640番地 TEL(0772)82-0079 FAX(0772)82-1650
http://www.kyoto-be.ne.jp/kumihama-jhs/ E-mail:kumihama-jhs@kyoto-be.ne.jp

第4号



同窓会の役割



同窓会長
清水 義夫

おかげさまで会報4号をお届けすることができました。

京丹後市内の中学校で唯一「同窓会」活動を続ける本同窓会は、会員相互の連携を強めると共に在校生を支援し、久美浜中学校を卒業した生徒たちが、故郷へ戻ってきて活躍をしながら地域の発展のために大いに力を発揮してくれるような環境の醸成に努めたいと考えています。

丹後には、自然豊かな環境があり農業・観光に加え丹後の経済を支えてきた「ちりめん産業」や、丹後のモノづくりを支える「機械・金属業」があります。

このような世界に誇れる類い稀な技術が近代的な技術と相まって、再び元気を取り戻し、若者が定住し、他地域からの移住者が増加することを願っています。その技や力は十分にあり可能性はあると確信しています。

なお、収益事業を持たない本同窓会では、活動の源となる財源が十分ではなく活動そのものが困難になってきています。今後は活動の工夫をすると共に多くの皆さんにお力添えを頂きながら継続したいと思えます。会員の皆様のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

ご挨拶



学校長
松田 正夫

新生久美浜中学校が誕生して五年、また「久美浜学園」という保・幼も含めた十年間の小・中一貫教育に取り組んで二年目を迎えました。現在、私たちは「ふるさとを愛し、意欲的に学び、やさしい心を持ち、根気強く努力する子どもの育成」を学園の共通教育目標に掲げ、日々子どもたちの指導に邁進しているところです。

さて、久美浜中学校同窓会の皆様には、日頃より物心両面において格別のご支援、ご協力をいただいております。紙面を通じて厚くお礼申し上げます。特に、昨年「ふるさと講演会」を主催していただきありがとうございます。今年も十一月十八日(土)、午後一時三十分より「翔く君たちへ!」と題し、本校同窓会員、(株)日進製作所代表取締役社長、前田昌則様にご講演をいただきます。人を知り、自分の将来を考えるよい機会になるものと期待しています。

また、本年度四月より、本校同窓会清水義夫会長様に会長職を兼任いただき、「久美浜学園地域連携推進協議会」をスタートさせました。この協議会のテーマは「将来の久美浜を支える人づくり」です。壮大なテーマですが、構成員の皆様とともに、「将来の久美浜を担って立つ人」をどう育てるか」という難題を真剣に論議してまいりたいと存じます。

現在、本校は、ふるさと久美浜を学ぶ学習や職場体験、地域への貢献活動等を通して、より深く「久美浜の人や地域を知る学習」に力を入れているところです。今後とも、久美浜中学校同窓会の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

理事会報告

八月三日、平成二十九年度理事会を開催し、平成二十八年度決算報告及び平成二十九年度事業計画・予算の承認をしていただきました。



決算報告では、同窓会発足時に約五十七万円あった繰越金は、三分の一弱となり活動が厳しくなっていると報告がありました。活動としては、学校支援事業のほか、会報三号の発行及び同

【平成28年度決算書】

(収入の部)				(単位:円)
科目	予算額	決算額	増減額	摘要
繰越	280,551	280,551	0	平成27年度より
会費	81,000	82,000	1,000	終身会費(@1,000×82名)
雑収入	49	1	△48	貯金利息
合計	361,600	362,552	952	

(支出の部)				(単位:円)
科目	予算額	決算額	増減額	摘要
会議費	10,000	10,000	0	
事務費	20,000	20,000	0	消耗品
事業費	160,000	163,200	3,200	同窓会報 64,800円 学校行事支援53,400円 講演会チラシ等45,000円
通信費	25,000	18,300	△6,700	切手
予備費	146,600	0	△146,600	
合計	361,600	211,500	△150,100	

差引残額 151,052円を平成29年度に繰り越し

「賛助金」のお願い

また理事会では、より多くの皆様に活動を理解し支援していただくために、一口一〇〇〇円の賛助金をお願いし、より充実した活動を続けていくことになりました。趣旨をご理解いただき、より多くの皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

■ 郵便振替口座
(振込手数料130円が必要です)

口座記号番号
00910-2-274447
口座名称
京丹後市立久美浜
中学校同窓会

通信欄に(〒)住所・氏名・
電話番号をご記入ください

そうだ みんなで学校へ行こう! ふるさと講演会

入場
無料

平成29年

日時 **11月18日(土)**

午後1時30分～(午後1時 開場)

会場 **久美浜中学校(体育館)**

はばた

【演題】翔く君たちへ!

21世紀の今日、モノづくりは大きな変革期を迎えています。その本質を見極めつつ、さまざまなニーズに対して誠心誠意の姿勢、そしてあくなき挑戦心をもって、より高度な製品で応えていく。豊かな社会や未来といった次代を築くためにNISSINはクオリティをもって貢献していきます。

(NISSIN・HPより)



講師

株式会社日進製作所
代表取締役社長

まえだ まさのり

前田 昌則氏

【講師プロフィール】

昭和27年 京丹後市久美浜町生まれ
昭和43年 高龍中学校卒業
昭和51年 株式会社日進製作所入社
平成15年 タイ赴任
平成25年 株式会社日進製作所
代表取締役社長

同窓会では昨年に次ぐ第2弾として計画、多数の皆様のご参加をお願いします。
主催：久美浜中学校同窓会 後援：久美浜中学校PTA

●私の中学生時代
—空腹でも夢があった—

京阪神久美浜会
代表理事 奥田 貞人



私は昭和八(一九三三)年に、久美浜駅から約八キロ東の「野中」で生まれました。上佐濃国民学校を修了して、上の学校を目指すのは、まさに終戦の翌春という時代です。

六三三制といわれる新学制になるのは、翌二十二年四月からです。普通科に行こうとすると豊岡が宮津ということになります。宮津中学には寮があり通学が楽なので、私はこちらを選びました。上佐濃校から二人でした。寮での生活は、私たちと同じ様に国鉄駅から離れていて通学が困難な間人や宇川の出身者が多く、すぐに親しくなりました。寮の仲間たちとは生涯の友として今でも親しく付き合っています。

育ち盛りの若者たちなので、みんなひもじい思いをしました。知的好奇心は極めて旺盛でした。つまり当時は「空腹でも夢があった」時代だったのです。

新しい学制になると、丹後地方でも各地に普通高校が新設されました。「普通科の生徒は近くの高校に帰りなさい」ということでしたが、なんとか豊岡高校併設中学に転入学し、自転車通学することになりました。宮津中学の二年間は回り道のような感じですが、その分寮という集団の生活と多くの友人を得たことに感謝しています。



—漁業の未来—

京都府漁業士会・会長
(昭和五十六年湊分校卒業) 和田 達典



私は、今は無くなった湊分校の卒業生、湊で漁師をしています。小さい時から海が大好きで毎日海、今は湊漁業株式会社の定置網の船に乗って、漁労長という仕事をしています。主に早朝の仕事ですが、とても楽しいです。四季折々の魚が多く獲れ、大漁の時はテンションが上がります。魚種は、マグロ・アジ・ハマチ・イカなど。たまにイルカ・クジラ・マンタなどの珍しい物が入網します。

以前は湊漁協青年部があり、私も部員として仕事の傍ら、仲間と久美浜湾の清掃等の活動をしていました。現在は京都府漁業士会という団体に入り、様々な活動をしています。漁業士には、京都府知事の認定を受けてなりました。京都府立海洋高校生との交流もあり、実際に定置網船に乗り体験学習してもらっています。

京都府の海岸線は約三〇〇キロ位あります。豊かな海が作られ、多くの魚介類が獲れています。後継者が少なく漁業の衰退が心配です。このことが最大の課題です。今の漁業は機械化が進んでおり、以前より楽になってきています。京都府は若者が漁師になるために、養成塾も開設しています。私も、若者が少しでも漁業に魅力を感じて、海の仲間が増えるようにがんばりたいと思います。



教頭 室井 良夫

久美浜中学校では、日々の教育活動の中で、様々な取組を行っております。ここでは、一学期、二学期の大きな取組だった合唱祭と体育祭を紹介します。

六月に行われた合唱祭では、全校七クラスが、それぞれ課題曲と自由曲の合唱を披露し、各学級の取組の成果を確認し合いました。吹奏楽部やPTAコーラスも、素晴らしい発表でした。本年度は、久美浜学園の各小学校の六年生にも参観してもらい、盛り上がった合唱祭となりました。最後の全校合唱「My Own Road」も、僕が創る明日も、とても迫力があり、体育館全体に響き渡った歌声は、場内を感

動の渦に巻き込むものになりました。

また、九月に行われた体育祭では、一年生から三年生までが縦割りのブロックで取り組みました。三年生が一、二年生を上手に導き、また一、二年生がそれにしっかりと応え、素晴らしい体育祭にしてくれました。また体育祭でも、久美浜学園の各小学校六年生に参加してもらい、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

各行事の参観を終えて、保護者・地域・小学六年の皆様から届けられた声を一部紹介します。

- それぞれのクラスのまとまりや様子が伝わってくる合唱祭で、とても素晴らしい時間でした。子供たちの成長を感じられました。(保護者)
- 体育館一杯の聴衆に囲まれ、とても盛り上がりました。保護者の方の熱意を強く感じました。全体的に声がよく揃っており、気持ちよく聴かせてもらいました。PTA合唱はみんな楽しそうな一体感が出ていました。全校合唱、久美浜中の大切な宝になりました。最高の感動です。ありがとう。(一般)
- 合唱祭では、私達に素敵な歌声を聴かせて頂きありがとうございました。一年生の人達は、元氣よく明るい感じで聴いている方も多くなりました。二年生の人達は、男声が少し低くなって女声は高かったので合わせられた時にきれいだなと思いました。三年生はやっぱり一人一人がパートに分かれて男声はとても低く、女声はとても高く真ん中の人達の声



がピッタリ合っていて、感動しました！泣きそうになりました！来年は私達も同じ場に立ちます。みなさんの歌声、態度を見習って頑張ります。今日は本当にありがとうございました。(小学六年生)

● 皆が楽しんでいる様子がすごく感じられました。黄色ブロックも赤ブロックも、どの競技にも一生懸命取り組んでいるようでした。見ている側も楽しく応援できました。PTA種目も笑いが絶えないくらい楽しかったです。リレーも楽しませてもらいありがとうございました。(保護者)

◆編集後記

ネット社会の進む平成の世、昭和の時代中学生の私には分からないことばかりです。それでも時代に遅れまいとフェイスブック、パソコン、ガラケー、スマホと必死に楽しく、遊び心で挑戦しています。フェイスブックの後確認の電話をしたり、パソコンの画面が動かず電源を切り、入れなおしたら再起動した無知の懐かしい思い出もあります。